

2 全体の構成と使い方

(1) こんな学習プログラムです

「親の力」をまなびあう学習プログラム ～ 寄って 話して 自ら気づく ～

このプログラムは、これから親になろうとする若い世代の方々から、今まさに子育て真っ最中の方々、そして自分の子育ては終わったけれど何らかの形で子育て支援を行いたいという中・高年齢層の方々まで、みんなが「寄って、話して、自ら気づく」ための「話のきっかけ」「対話のツール」として開発されたものです。「寄って、話す」という参加型学習で「まなびあう」ことによって、自らが本来持っている「親の力」に「自ら気づき」さらに伸ばしてほしいという願いが込められています。

※「親の力」とは、「子供に対して第一義的責任を果たす力と社会の一員として子供を育成する力が一体となった“子育て力”＝人を育てようとする人なら誰もが持っているであろう“親心”から発せられる力」のことです。(本書「巻頭言」より)

○

今日、インターネットで検索すれば様々な子育て情報が入手できますし、書店に並ぶ様々な「育児書」からはベストセラーも生まれています。「情報」はあふれています。

一方、子育て事情は各人各様で、Aさんには正しかった子育ての方法が、必ずしもBさんにも有効であるとは言えません。「昔」うまくいった方法が、必ずしも「今日」有効であるとも限りません。

あれもこれもといろいろやってみた挙句、結局「自分のやり方」に帰着する人は多いと思います。

○

「情報の海」のなかで、どの情報が自分に合っているのか、どの方法なら自分にも「すぐに」実行できるのか。それを自ら選び取る力、自分の生活に合わせて自らアレンジする力…つまり、子育てに関して「自ら気づき、学ぶことのできる力」が、今何より親に求められています。

子育てに必要な知識や技術の習得ではなく、自他の子育てを振り返り学び合うことを通じて、自分に必要な知識や技術について、親が「自ら気づき、学ぶことができる力」を高めていただく…それが、このプログラムの目的です。

○

困ったことが起きた時、自分一人で考え悩んで答が見つからなければ、人は誰かに相談するでしょう。

誰かに「話を聞いてもらう」ことで、自分の心が落ち着いたり、話しているうちに自分の中で自然に問題点が整理されて答が見つかったりした経験や、話すことで、「聞いてもらえた」「自分を受けとめてもらえた」という安心感が得られた経験は、誰にでもあると思います。「話してスッキリ！」という体験です。みんなで寄って、話しましょう…それが、このプログラムの手法です。

○

現代社会のなかで、様々な要因により「孤立」しがちな親も多いと思います。従来から様々に行われてきた子育て支援の活動の場に、様々な要因により、参加できなかった（参加しなかった）親も多いでしょう。誰もが安心して学習できる機会を増やしていきたいものです。

子育てに「唯一絶対の正解」はありません。「自分一人じゃなかったんだ！」「自分のやり方でも良かったんだ！」「なるほどそういうやり方もあったのか！」「そう考えれば気が楽になるね！」などと、親自身が気づいて学んでいくことが大切です。

「いつでも」「どこでも」「だれでも」使うことのできるプログラムです。子育てに関わる様々な場で、幅広く自由に御活用ください。

(2) プログラムの特色について

1 楽しく話し、聞いて納得する参加型！ ～「正解」はありません～

このプログラムは、講演や講義等のように、講師の話を参加者が一方的に聴くなどの従来からある学習方法ではなく、参加者同士が話し合い、知恵を出し合い、お互いに学び合う、参加者が「学びの主体」となる「参加型の学習プログラム」です。

ファシリテーター(学習活動を支援し促進する人)が、参加者が安心して意見を出し合い、話が聞けるように、アクティビティ(学習活動)を進行していきます。参加者は、グループでの話し合い等を通じて、互いに共感を深めるなかで、それぞれが自分にとって必要な知恵や技術などに自ら気づき、主体的に学んでいきます。このプログラムにいわゆる「正解」はありません。参加者みんなの力で、それぞれが自分にあった「こたえ」を見つけていくことができるプログラムです。

2 子育て段階に応じた学習プログラム！

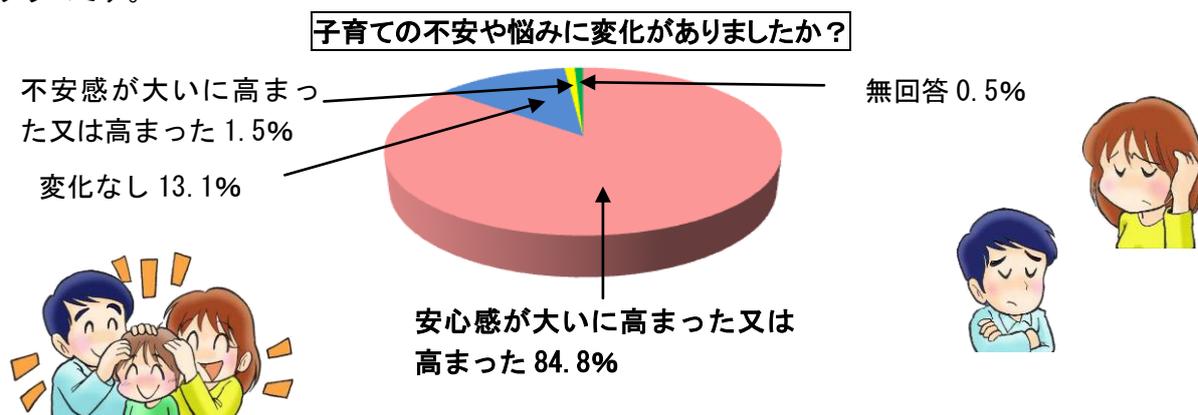
子供の発達段階や、それに伴う親の悩み・不安などに応じて、学習することができます。子育て段階に応じた8つの年齢層に分かれてそれぞれに3つから4つずつ教材があり、年齢層を限定しない教材も含め、計38の教材で構成されています。子育て中の親だけでなく、中学生・高校生等のこれから「親」になる世代や妊娠期の方、子育てを終了した中高年世代の方まで、幅広い方を対象としたプログラムです。

3 身近なエピソードをもとにした内容！

共感を深め、話が進みやすくなるよう、それぞれのテーマに応じた「あるある！」と感じられる、どの御家庭にでもありそうな身近なエピソードをもとに学習することができます。ワークシートに楽しいイラストを入れたり、4コママンガにしたりして、より具体的にイメージできるようになっています。

4 子育ての不安や悩みを軽減！

参加者の8割を越える方が、子育ての不安が軽くなったと感じています。効果的であることが実証されているプログラムです。



(令和元年度「親プロ」講座参加者アンケートより)

5 これまでに 62,000 人以上の広島県民が参加！ (令和元年度末現在)

広島県内の全市町でこのプログラムを活用した講座が実施されており、令和元年度の1年間では、5,557人の方が、これまで合計では62,000人以上の方が参加されています。

(3) プログラムの構成について

【プログラム一覧表】

「親の力」をまなびあう学習プログラム ～寄って、話して、自ら気づく～

全体のねらい<自他の子育てを振り返り学び合うなかで、親が「自ら気づき」「自らまなべる」力を高める。>

段階 <ねらい>	対象 <ねらい>	教材番号	教材のタイトル <ねらい>
「自分の親は将来の自分」期 (子育て準備期) <自分の親子関係を振り返ったり、親となる自分を想像することで、これからの自分の生き方を考える。>	「親はウルサイけどアリガトウ」編 (中学・高校生などの青少年対象) <親の立場を想像しこれまでの自分を振り返ることで、これから親となるであろう自分の生き方を考える。>	1	おぎゃーってスゴイ！ ～生まれてきた自分、やがて生まれてくる命～ <卵を自分の子供に見立て、命の大切さと、親として命に関わることの責任の重さを実感する。>
		2	親しらず 子しらず ～親子関係を振り返る～ <自分の親子関係を振り返り、親の役割や気持ちについて考える。>
		2-2 アレンジ版	親しらず 子しらず ～親子関係を振り返る～ <自分の親子関係を振り返り、親の役割や気持ちについて考える。> アレンジ内容 ：中学生により身近な内容となっています。
	「自分が親になるなんて」編 (まもなく親になる人対象) <生まれてくる命を育む責任を自覚し、パートナーと共に出産・育児を迎える自覚を深める。>	3	おや！ おや？ ～自分のあゆみと親のかかわり～ <「自分史」を作るなかで親との関係を振り返り、将来どんな親になりたいかを考える。>
		4	親になるって！？ ～命を授かる責任と喜び～ <子供のいる生活を想像し、親になる心構えを持つ。>
		5	妊娠期のカラダとココロ ～パートナーの理解と協力～ <妊娠期の女性の体と心の変化を理解し、男女の相互理解と支え合いの大切さを考える。>
6		出産は初めの一步！ ～思い描こう、赤ちゃんのいる生活～ <これから始まる子育て生活への心構えや態勢づくりについて考える。>	
「過ぎてしまえば一番幸せ」期 (子育て前期) <子供がいる生活を受け入れるとともに、子供の成育の過程を余裕を持って楽しみ、子供をしっかりと受けとめる。>	「クタクタでもワツハツハ」編 (3～6歳児の親対象) <子供の体と心の育ちにとって必要な要素を考えるとともに、今の子育ての状況を楽しめるような心の余裕を持つ。>	6-2 アレンジ版	出産は初めの一步！ ～思い描こう、赤ちゃんのいる生活～ <これから始まる子育て生活への心構えや態勢づくりについて考える。> アレンジ内容 ：エピソードを変更し、体験談をもとに話し合う内容となっています。
		7	私の時間、子供の時間 ～つくってますか？心のゆとり～ <多忙な育児のなかで心にゆとりを持てるよう、上手な時間の使い方について考える。>
		8	お付き合いって難しい？！ ～「私と周り」の人間関係を考える～ <自分と周囲の人間との関係を良好にすることについて考える。>
		9	ワイワイ、キヤーキヤー！！ ～「子供と遊び」について考える～ <情報や意見を交流し、子供を豊かに育む遊びについて考える。>
		10	買って買って！！ ～さあ困った！あなたなら～ <子供の気持ちを受けとめる親の役割の大きさについて考える。>
		10-2 アレンジ版	こんな時、どうする？ ～子供の気持ちを受け止める～ <子供の気持ちを受けとめる親の役割の大きさについて考える。> アレンジ内容 ：エピソードを変更し、新たな場面に対応した内容となっています。
		11	〇〇ちゃんがするっ！！ ～自我の芽生えと親の思い～ <子供の思いに寄り添い、自主性を伸ばすために、親がどう支援すれば良いかを考える。>
		12	もうすぐ小学生！ ～これまでの子育てを振り返る～ <これまでの子育てを振り返り、これからの育て方を考える。>
		12-2 アレンジ版	もうすぐ小学生！ ～期待と不安の中味とは？～ <新入学に向けて親が抱えている子供への期待と不安を整理し、親子で取り組めることについて考える。> アレンジ内容 ：小学校入学前に親が抱く子供への期待と不安を整理できる内容となっています。
		「ワクワク・ドキドキ」編 (小学1～3年生の親対象) <子供を多様な価値観で受けとめ、自ら伸びようとする芽を見つけて、成長を支援する。>	13
14	くらべないで！ ～同じ子供なんて一人もいない～ <他の子供と比べることの功罪を考え、自分の子が持つかけがえのない価値を再認識する。>		
15	みなおして！ ～多様な視点から子供を見る～ <多様な視点から見ることにより、心に余裕が生まれることに気づく。>		
「親子で登る自立の坂道」期 (子育て後期) <子供の成長を見守り、受け入れるなかで、親も共に成長しようとする姿勢を持つ。>	「子が親離れしていく」編 (小学4～6年生の親対象) <子供の心身の変化を理解し、子供の主体性を伸ばす親のあり方について考える。>	16	体と心の変化 ～子供の思い、親の戸惑い～ <子供の成長に戸惑う自分自身を見つめ直し、自立しようとする子供の気持ちを理解し支えることについて考える。>
		17	どうする？ どういう？ ～子供の人間関係へかかわり～ <子供の交友関係への親の適切なかかわり方について考える。>
		18	さあ、どっち！？ ～信じる、見守る、待つ、聞く～ <反抗期等多感な時期の子どもとの接し方から、親子のより良いコミュニケーションの取り方について考える。>
		19	思い出してみて… ～私にもあった青春時代～ <自分の青春時代を思い出し、子供の思いに寄り添いつつ言葉を届ける術を考える。>
		20	キャッチボールは得意ですか？ ～気持ちをつたえる 胸の真ん中でうけとめる～ <進路選択を巡る親子のロールプレイをとおして、子供と気持ちを通じ合うことの難しさと大切さを学ぶ。>

	<子供が自立しようとすることを受け入れ、支援するとともに、親自身の子離れについて考える。>	21	ほどよい距離感って？～子供の自立と親の自立～ <子供の自立を適切に支援できるような、親の接し方について考える。>
「再び子育て，そして親育て」期 (子育て支援期) <自分の体験をもとに若い親たちを支援しつつ、共に学ぶ意欲を持つ。>	『「いまどきの親は』なんて言わない』編 (中高年などの子育て支援者対象) <現代の子育て環境の状況を学びつつ、若い親の子育てを支援する。>	22	よりそって見て…～子育て環境の変化を知る～ <子育て環境の時代変化を知り、現代における子育て支援について考える。>
		23	たちどまってみて…～こんな場面で、あなたなら？～ <子育て中の親子への関わりについて意見交換し、適切な支援のあり方について考える。>
		24	かかわってみて…～地域の大人ができること～ <子供の豊かな成長を促す場をつくるために、地域の大人として何が出来るかを考える。>

【テーマ別に開発した教材】

★多様化する現代的課題に対応した新規開発教材です。

対象	教材番号	教材のタイトル <ねらい>
乳幼児～高校生の父親	25	お父さんの子育てトーク！～「父親」の楽しみを持ち寄ろう～ <父親として子育てにかかわることの楽しさを語り合い、自分なりにできることを考える。>
小学生～高校生の親	26	ケータイ！うちではどうする？！～考えてみて、わが家流のつきあい方～ <子供の携帯電話利用実態について話し合い、どうすれば子供が携帯電話と上手に付き合うことができるかを考える。>
子育て期の親，働く人など	27	向き合ってみて… ～「仕事」と「子育て」の調和のために～ <仕事と生活（子育て）の調和を図り、子供や家族と向き合うことの大切さについて考える。>
まもなく親になる人， 0～3歳児の親子	28	おひざにだっこでおはなししましょう～絵本をひらいてみませんか？～ <読み聞かせの体験等を通して、子供に対する読み聞かせの大切さを感じ、自分の子育てに取り入れるきっかけとする。>
まもなく親になる人， 0～3歳児の親	29	おひざにだっこでおはなししましょう～読み聞かせ，どうしてる？～ <読み聞かせの悩みや工夫などの交流を通して、自分の読み聞かせを振り返るとともに、それぞれの実情に応じて、これからの読み聞かせに生かそうとする。>
中学・高校生などの青少年	30	地域ぐるみで子育て！～親の立場で考えてみよう～ <子育ては親だけで行うものではなく、地域には助けになる施設や人の存在があることに気付くとともに、自分が大人になったとき、親あるいは地域社会の一員として子供とどう関わり、子供をどう育てていくかを考える。>
中学・高校生などの青少年	31	あなたならどうする，どう考える？～親として，地域の一員として～ <将来自分が大人になったとき，どのように子育てや子育て中の親に関わっていききたいかを話し合い，親あるいは地域社会の一員として，子供や親と関わっていくことの大切さについて考える。>

【親子コミュニケーション応援編】

★子供の気持ちに共感した接し方，コミュニケーションの方法を具体的に考える教材です。

対象	教材番号	教材のタイトル <ねらい>
概ね2，3歳～6歳児の親	コ-1	「ちゃんとしてね！」で伝わってる？ <曖昧な表現では子供に伝わらないマンガを通して、子供の気持ちに共感した具体的な言葉かけや対応について考える。>
	コ-2	ほめて“楽”に子育て～悩むの中止で注視しよう～ <魔法の虫メガネで子供を見るマンガを通して、子供の気持ちに共感し子供の良いところを見つけてほめることの大切さについて考える。>
	コ-3	待つ門には福がくる！？ <度々子供を父親が根気強く待つマンガを通して、子供の主体性を尊重し自分のできるよう待つことの大切さについて考える。>
	コ-4	いきなりどなっていませんか？ <親が子供を一方的にどなるマンガの場面を通して、まず子供の気持ちを受け止め、伝えていくことの大切さについて考える。>
	コ-5	備えあれば怒りなし！？ <お店での行動を「約束」してから行くマンガを通して、事前に説明したり約束したりすることの大切さについて考える。>
	コ-6	指示より支持してみよう <子供が自分で考えたり、試したりする行動を父親が見守るマンガを通して、見守ることの大切さについて考える。>

【短時間でできる教材】

★乳幼児の親を対象として「サイコロ」や「カード」で楽しく学べる教材です。

対象	教材番号	教材のタイトル <ねらい>
0～2歳児の親	ミニ-1	みんなどうしてる？～親編・親の生活編・子供の生活編～ <乳幼児期の子育てに関するテーマについて話し合うことで、親同士が結びつききっかけをつくるとともに子育てを振り返る機会とする。>

(4) ワークシート (教材) について

「A3サイズ(両面)二つ折り」(A4サイズ4ページ)が基本の単位です。

<ワークシート (教材) 例>

<エピソードを読みましょう>
身近なエピソードを読んで、自分の経験と重ね合わせて考えます。

【見開き2ページ】

エピソードを読みましょう

お母さんと一緒にサトウくんが、バスに乗っています。乗りの大好きなサトウくんは乗降車中、中でも、乗降ボタンは、一番の気持ちが入ります。「押しちゃっていい?」「まだ、降りないから大丈夫。降りる時には教えてあげてね!」やさしく言い聞かせるお母さん。

しばらくは静かに乗車中、持っている本を二冊で読み終えてしまったサトウくんは、お母さんに話しかけました。「お母さん、乗降ボタンを押さなくていい?」バスの中で大きな音が響きます。お母さんはびっくりして...

考えましょう

Q お母さんは、エピソードを読んでどんなことを感じましたか。

Q なぜこのような状況になったと思いますか。

Q お母さんなら、このような時にどのような対応をしますか。

【表紙】

教材番号, 対象(年齢層) 教材のタイトル

学習した日

10-2

寄って話して 自ら気づく
「親の力」をまなびあう学習プログラム

こんな時、どうする?
～子どもの気持ちを受け止める～



広島県教育委員会

<学習のねらい>
対象となる年齢層の特徴や各テーマの学習のねらいを示しています。

考えましょう, 出しましょう

子どもが困ったことを見た際、どんな対応をすればよいか考えてみましょう。

困ったこと	原因	対応
例: <学ぶ	例: 話さない	例: 十分に聴き取らせる

学習資料 「日ごらの生活であること」

学年	性別	人数
小学校	男子	181
	女子	189
中学校	男子	167
	女子	178
高等学校	男子	159
	女子	185
大学	男子	155
	女子	175
社会人	男子	123
	女子	147
その他	男子	123
	女子	127

<考えましょう>
それぞれの問いに対し、自分なりの考えやこたえを記入します。

<出しましょう>
各自が書いたことをもとに、グループ内で互いに意見を出し合います。

【最後のページ】

さらに考えましょう

お母さんは、子どもが困ったことを見た際、どんな対応をしていますが、お母さんと思われるものを、○をしましょう。

1	注意をそらす。
2	取り合わない。
3	気持ちを解るように、話をしめる。
4	気持ちを聞いてみる。
5	かたごでさだから聴かせる。
6	静まるまで黙って聞かせる。
7	自分知っていることがどういう結果になるかわかせる。
8	良い手本を示す。
9	親が原因なのかを自分自身で考える。
10	ルールをつくる。
11	そわりの環境を工夫する。
12	その他

※これらは様々な対応の一例で、対応の全てではありません。

<参考に資料>
話し合いや学びを深めるために、学習の参考となる情報を活用します。

<さらに考えましょう>
話し合ったことをもとにもう一度考え、学習を深めていきます。

<学習を振り返りましょう>
今日の学習を振り返り、学習成果を記入します。

(5) 参加者同士の「三つの約束」について

『親の力』をまなびあう学習プログラムは、参加者同士が積極的に参加しながら、ともに楽しく学び合い、みんなで作りあげていく学習プログラムです。そのためには、参加者みなさんの協力が必要です。学習を始める前に、参加者全員で、次の「三つの約束」を確認しましょう。

三つの約束

① 参加者はみな平等です (発言の平等)

参加者（ファシリテーターも含めて）はみな平等です。

決められた時間のなかでの学習ですから、一人の方に偏ることなく、話をするのが得意な方も、そうでない方も、みんなで話ができるようにしましょう。そして、人の意見はしっかり聞きましょう。たとえば発言の時間を決めるなどして、平等に学び合える場になるよう、みんなで考えましょう。

② お互いの話を肯定的に受け止めましょう (人の発言の肯定)

自分と考え方が違うからといって、その人の意見を頭ごなしに否定したり、持論をまくし立てて黙らせたりしてはいけません。「そういった考え方もあるのか」と受け取れるようにしましょう。そこから学びが始まります。

③ 人の「ひみつ」を守りましょう (秘密の保守)

学習の場で知った「ひみつ」（プライバシーに関わる情報）は、その場に置いて帰りましょう。

同じ時間を共有するなかで、参加者同士には信頼関係が生まれ、そのなかで、安心して自分や自分の家庭のことについて話ができ、学習が深まります。

それは学習の場のなかでは必要なことですが、その場を離れると必要ではありません。

学習するなかで知った参加者の個人情報は、その場だけのこととし、他の人に話さないようにしましょう。

<プラス1> 発言は強制ではありません

話したくないことを無理に話す必要はありません。そのときは「パス」しましょう。



イラスト：うじな かずひこ

(6) ファシリテーターの役割について

学習活動を支援し促進する人を「ファシリテーター」（進行役）といいます。学習者みんなが安心して学習活動を行い、その学習成果が最大限高まるよう、工夫しお手伝いするのがファシリテーターの役割です。具体的には、次のような点を大切にしながら役割を務めます。

① 学習者の「自ら気づきまなぶ力」を引き出しましょう

学習者は、だれでも「自ら気づきまなぶ力」を持っています。学習者自身が持っているその力を引き出しましょう。学習者の発言をよく聞いて、その思いを分かりやすい言葉に変えてみたり、要点を整理して言葉を繰り返していくと、学習者は、客観的に自分を見つめ、自らの力に気づきやすくなります。

自らのなかに力があることを学習者（親）自身が認識することは、自分の子育てに自信を持ち、明日からまた元気に子育てをしていくうえで、とても重要なことです。

② 語り上手ではなく、聞き上手になりましょう

ファシリテーターは語り手ではなく、聞き手です。「聞き上手」になりましょう。参加者同士が語り合うことを中心に、学習を進行しましょう。

一人ひとりの発言をよく聞き、「ふんふん」と相槌を打ったり、共感したりすると、話す方は、「分かってくれている」「受けとめられている」と安心して話しやすくなります。そして、話をしているうちに、自分のなかで「問題点」がだんだん整理されてきます。

③ 力の均衡（パワーバランス）を大切にしましょう

参加者は、学習者もファシリテーターも、みな平等であり対等です。参加者同士が互いに尊重し、みんなで協力しながら学習できるような雰囲気を作りましょう。

ファシリテーターは、「教師」や「リーダー」ではありません。ファシリテーターが学習者より「強い力」を持つてはいけません。また、学習者の間でも力の均衡が保たれるように配慮しましょう。

「一部の人が一方的に発言している」「他の人の意見を頭ごなしに否定している」という状況にならないよう、参加者同士で「約束」（P. 8）を確認しあうことが大切です。参加者全員が、平等に話することができる和やかな雰囲気づくりができているか、全体の様子に気を配りましょう。

④ コーディネーターでもあります

ファシリテーターは、参加者同士をつなぐコーディネーターでもあります。

学習者の中には、地域で孤立しがちな人や、子育てに忙しく家にこもりがちな人、他者との付き合いが苦手な方などいらっしゃいます。学習の場で出会い、同じ時間を共有した参加者同士が、学習活動のなかで信頼感を共有し、学習後もつながり合い、支えあっていくことができるようになるのが理想です。参加者同士が人間関係を築けるように配慮し、「人」と「人」とをつなぐコーディネーター役になりましょう。

⑤ 深刻な問題は関係機関を紹介しましょう

学習活動の中、あるいは学習後に、いじめや児童虐待など、深刻で緊急性の高い問題を相談されることもあります。その場合には、いいかげんな知識でごまかさず、関係機関に相談するようアドバイスするなど、誠意を持った対応ができるようにしてください。関係機関へ紹介するときは、責任と丁寧さを持ち、「私のことを心配してくれている」という信頼感を得ることが重要です。無責任な「たらい回し」のようなことは避けましょう。

⑥ いろいろな人の存在を意識しましょう

様々な背景をもった方が、様々な思いで学習会に参加している場合があります。ファシリテーターとして、多様な状況の方がいることを想定しておくことは、とても大切です。表情やしぐさなど参加者一人一人の様子に気を配りながら、言葉の使い方やニュアンスなども工夫しましょう。表情が冴えない方や、突然黙り込んだり泣き出したりする方もいるかもしれません。その人の思いを受けとめながら、必要であれば、終了後に個別に話を聞くなど、丁寧で誠意ある対応をしましょう。

(7) 学習プログラム活用の「場」について

一人でも多くの方にこのプログラムを活用した学びの場に参加していただくためには、様々な機会を捉えた講座の実施が必要です。孤立しがちな方や仕事で忙しい方など、通常の学習の場等になかなか参加できない方にも学習機会を提供するきっかけ作りをめざしています。

～こんな「場」でぜひ御活用ください～

～親同士の交流の場に～

子育てサロン
子育てサークル

入学説明会
入園説明会

女性企業家の集まりで

社員・職員研修
職場の学習会

PTA研修会, 保護者会, 懇談会
(幼稚園, 保育所, 学校等)

子育て・家庭教育講座
(公民館, 子育て支援センター等)

「おやじの会」「イクメン講座」等
父親同士の交流の場で

おはなし会, 絵本についての講座等
(図書館, 公民館, 子育て支援センター等)

ネウボラ

「孫育て講座」等
祖父母世代の交流の場で

親子の集まるイベント会場

乳幼児健診
就学時健診

「プレパパ・プレママ講座」等
妊娠期の方等の交流の場で

民生委員・児童委員の研修会

子ども会の保護者研修会

児童館や児童センター

母子保健推進員等の研修

学校の地区懇談会

～地域の交流の場に～

地域女性会

放課後子供教室,
放課後児童クラブ等の
スタッフ研修会

家庭教育シンポジウム・フォーラム

学校の地域公開参観日

自治会, 町内会



イラスト：うじな かずひこ

～若者同士の交流の場に～

学校の授業
(家庭科, 総合的な学習の時間等)

青少年センター等の教育施設

将来, 保育士や教員等をめざす
学生の集まりの場で
(大学のゼミやサークル等)

(8) その他

1 著作権について

- ・このプログラム(「ワークシート」及び「学習のすすめ方」)は、著作権フリーです。このままコピーして学習活動に使用していただくことができます。必要なシートをコピーして、様々な学習の場で、自由に活用してください。
- ・ただし、引用されている論文、書籍の記述、データ等の資料、画像等についての著作権は作成者に帰属しています。これらをプログラムから切り離して使用する場合には、著作権の許諾が必要ですので御注意ください。
- ・基本の「ワークシート」を元に、学習ニーズ等に合わせて、エピソードや設問を変更するなど、自由にアレンジすることができます。アレンジ版を作成した場合は、今後の参考にしたいので、ぜひ、広島県立生涯学習センターまで情報提供してください。

2 参考にした書籍、資料など(順不同)

- ・「平成18年度広島県教育モニターアンケート」(広島県教育委員会)
- ・「子育てハッピーアドバイス1」(明橋大二著 1万年堂出版 2005年)
- ・「子育てハッピーアドバイス2」(明橋大二著 1万年堂出版 2006年)
- ・「子育てハッピーアドバイス3」(明橋大二著 1万年堂出版 2006年)
- ・「子どもが育つ魔法の言葉 for Mother and Father」(ドロシー・ロー・ノルト著 平野獅子訳 PHP文庫 2006年)
- ・「子どもが育つ魔法の言葉 for the Heart」(ドロシー・ロー・ノルト著 石井千春/武者小路実昭訳 PHP文庫 2004年)
- ・「10代の子どもが育つ魔法の言葉」(ドロシー・ロー・ノルト/レイチャル・ハリス著 雨海弘美訳 PHP文庫 2004年)
- ・「子どもを伸ばすお手伝い」(辰巳渚著 岩崎書店 2006年)
- ・「子どもを伸ばすお片づけ」(辰巳渚著 岩崎書店 2005年)
- ・「普及版 完璧な親なんていない!カナダ生まれの子育てテキスト」(ジャニス・ウッド・キャタノ著 三沢直子監修 幾島幸子訳 ひとなる書房 2002年)
- ・「親教育プログラムのすすめ方 ファシリテーターの仕事」(ジャニス・ウッド・キャタノ著 三沢直子監修 杉田真/門脇陽子/幾島幸子訳 ひとなる書房 2002年)
- ・「『親』をまなぶ・『親』をつたえる」(平成17年7月 第1版第4刷 大阪府教育委員会)
- ・「『親』をまなぶ・『親』をつたえる 指導用教材」(平成17年3月 大阪府教育委員会)
- ・「親学習プログラム」(平成18年3月 栃木県教育委員会)
- ・「生涯学習審議会答申」(文部科学省 平成11年)
- ・「社会意識に関する世論調査」(内閣府 平成20年2月調査)
- ・「第1回妊娠出産子育て基調査・フォローアップ調査(妊娠期~0歳児期)報告書」(ベネッセ次世代育成研究所 2009年)
- ・「平成19年版国民生活白書」(内閣府)
- ・「第3回子育て生活基本調査(幼児版)」(Benesse教育研究開発センター 2009年)
- ・「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」
- ・「家庭教育手帳小学校(低学年~中学年)編」(文部科学省)
- ・「青少年の体験活動等に関する実態調査(平成26年度調査)」(独立行政法人国立青少年教育振興機構 平成28年)
- ・「金子みすゞ童謡全集」(JULIA出版局 2004年)
- ・「第1回子ども生活実態基本調査」(Benesse教育研究開発センター 2009年)
- ・「子どもの生活と学びに関する親子調査2015」(ベネッセ教育総合研究所 2016年)
- ・「いじめの問題のホームページ」(広島県教育委員会)
- ・「子育て支援策等に関する調査研究報告書」(厚生労働省委託U F J総合研究所 平成15年度)
- ・「全国家庭児童調査結果の概要」(厚生労働省 平成元・6・11・16・21年度)
- ・「平成19年版国民生活白書」(内閣府)
- ・「子どもの生活に関するアンケート調査」(第一生命ライフデザイン研究本部 2007年)
- ・「地域の教育力に関する実態調査」(文部科学省 平成18年)
- ・「第3回乳幼児の父親についての調査 速報版」(ベネッセ教育総合研究所 2015年)
- ・「平成29年度青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果(速報)」(内閣府 平成30年2月)

- ・「携帯電話に係る啓発活動推進会議 保護者向け資料」(広島県教育委員会)
- ・「絵本で子育てを楽しく」(文部科学省)
- ・「赤ちゃん向け絵本ガイド」(広島県立図書館)
- ・「中学校学習指導要領」(文部科学省 平成20年)
- ・「高等学校学習指導要領」(文部科学省 平成21年)
- ・「技術・家庭〔家庭分野〕」(開隆堂 平成17年)
- ・「家庭基礎」(開隆堂 平成27年)
- ・「家庭基礎」(教育図書 平成27年)
- ・「高等学校 家庭基礎」(第一学習社 平成27年)
- ・「家庭基礎」(東京書籍 平成26年)
- ・「エンカウンターで学級が変わる」(国分康孝著 図書文化 2012年)
- ・「あんころ」(千葉県高等学校教育研究会家庭部会, 家庭科教育推進委員会 教育図書 2014年)
- ・「子どもへのまなざし」(佐々木正美著 福音館書店 1998年)
- ・「うちの3姉妹」(松本ぷりっつ著 主婦の友社 2006年)
- ・「私たちの道徳 中学校」(文部科学省)
- ・「『私たちの道徳』中学校 活用のための指導資料」(文部科学省 平成26年)

3 執筆編集者

(平成18年度親の教育力を高めるプログラム開発検討委員会)

委員長	橋本信子	安田女子短期大学助教授	副委員長	葛原生子	広島県立生涯学習センター 生涯学習推進マネージャー
委員	熱田有紀	(財)広島市ひと・まちネットワーク 福田公民館主事	委員	高路貴子	(財)広島市ひと・まちネットワーク 己斐公民館主事
	生熊啓子	(財)広島市ひと・まちネットワーク 亀山公民館主事		樋口英子	(財)広島市ひと・まちネットワーク まちづくり市民交流プラザ主事
	大亀一彦	広島県立図書館専門員		松浦祐司	広島県教育委員会指導第三課 道徳教育係長
	岡本由姫美	府中市まさみ園保育所所長		山形雅	(財)広島市ひと・まちネットワーク 安東公民館主事
	金子留里	子育て支援サークル 「げんき発信隊」代表		山川肖美	広島修道大学助教授
	栗栖寿美子	(財)広島市ひと・まちネットワーク 古市公民館主事		山本知子	福山こども家庭センター主任
	栗原洋子	広島県PTA連合会母親代表	事務局	県教育委員会生涯学習課(梶原) 県立生涯学習センター(田中, 細川)	

(平成19年度親の教育力を高めるプログラム開発検討委員会)

委員長	橋本信子	安田女子短期大学准教授	副委員長	葛原生子	広島県立生涯学習センター 生涯学習推進マネージャー
委員	熱田有紀	(財)広島市ひと・まちネットワーク 福田公民館主事	委員	高路貴子	(財)広島市ひと・まちネットワーク 己斐公民館主事
	生熊啓子	(財)広島市ひと・まちネットワーク 亀山公民館主事		樋口英子	(財)広島市ひと・まちネットワーク まちづくり市民交流プラザ主事
	うじなかずひこ	イラストレーター		松浦祐司	広島県教育委員会指導第三課 課長補佐(兼)道徳教育係長
	岡本由姫美	府中市まさみ園保育所所長		山川肖美	広島修道大学教授
	金子留里	子育て支援サークル 「げんき発信隊」代表		宇都宮千賀子	広島こども家庭センター専門員
	蔵田郁子	広島県PTA連合会母親代表	事務局	広島県教育委員会生涯学習課(坂田) 広島県立生涯学習センター(田中, 細川)	

(平成23年度「親の力」をまなびあう学習プログラム検討委員会)

委員長	橋本信子	安田女子短期大学教授	副委員長	葛原生子	広島県立生涯学習センター 生涯学習推進マネージャー
委員	岡本由姫美	府中市和光園保育所所長	委員	緒方恵理子	尾道市向東地区家庭教育支援チーム「親ちから」代表 (「親の力」をまなびあう学習プログラム)ファシリテーター)
	古玉菊江	東広島市教育委員会生涯学習課社会教育指導員 (「親の力」をまなびあう学習プログラム)ファシリテーター)		林幸江	「親の力」をまなびあう学習プログラム)ファシリテーター
	行政智	三次市地域振興課ひとづくり係青少年育成指導員 (「親の力」をまなびあう学習プログラム)ファシリテーター)		川端一弘	広島県教育委員会指導第三課 課長代理
事務局	広島県教育委員会生涯学習課(坂田, 神信) 広島県立生涯学習センター(加藤, 金沢, 松田)				

(平成 24 年度「親の力」をまなびあう学習プログラム検討委員会)

委員長	橋本信子	安田女子短期大学教授	副委員長	志々田まなみ	広島県立生涯学習センター 生涯学習推進マネージャー
委員	岡本由姫美	府中市和光園保育所所長	委員	緒方恵理子	尾道市向東地区家庭教育支援チーム“親ちから”代表 (『親の力』をまなびあう学習プログラム) ファシリテーター
	古玉菊江	東広島市教育委員会生涯学習課社会教育指導員 (『親の力』をまなびあう学習プログラム) ファシリテーター		林幸江	『親の力』をまなびあう学習プログラム ファシリテーター
	行政智	三次市地域振興課ひとづくり係青少年育成指導員 (『親の力』をまなびあう学習プログラム) ファシリテーター		川端一弘	広島県教育委員会豊かな心育成課 課長代理
事務局	広島県教育委員会生涯学習課(坂田, 杉本) 広島県立生涯学習センター(加藤, 松田, 一本木)				

(平成 25 年度「親の力」をまなびあう学習プログラム検討委員会)

委員長	橋本信子	安田女子短期大学教授	副委員長	志々田まなみ	広島県立生涯学習センター 生涯学習推進マネージャー
委員	緒方恵理子	尾道市向東地区家庭教育支援チーム“親ちから”代表 (『親の力』をまなびあう学習プログラム) ファシリテーター	委員	岡本由姫美	府中市和光園保育所所長
	林幸江	『親の力』をまなびあう学習プログラム ファシリテーター		古玉菊江	東広島市三ツ城コミュニティハウス副所長 (『親の力』をまなびあう学習プログラム) ファシリテーター
	播磨寛宗	広島県教育委員会豊かな心育成課 課長補佐(兼) 道德教育係長		行政智	三次市地域振興課ひとづくり係青少年育成指導員 (『親の力』をまなびあう学習プログラム) ファシリテーター
事務局	広島県教育委員会生涯学習課(坂田, 小早川) 広島県立図書館(鍛冶) 広島県立生涯学習センター(西田, 竹中, 一本木)				

(平成 27 年度「親の力」をまなびあう学習プログラム教材開発に係る懇談会)

委員	橋本信子	安田女子短期大学教授	委員	古玉菊江	東広島市三ツ城コミュニティハウス副所長 (『親の力』をまなびあう学習プログラム) ファシリテーター
	志々田まなみ	広島県立生涯学習センター 生涯学習推進マネージャー		行政智	三次市教育委員会文化と学びの課青少年育成指導員 (『親の力』をまなびあう学習プログラム) ファシリテーター
	緒方恵理子	尾道市向東地区家庭教育支援チーム“親ちから”代表 (『親の力』をまなびあう学習プログラム) ファシリテーター		米田珠美	府中町社会教育委員 (『親の力』をまなびあう学習プログラム) ファシリテーター 「放課後子供教室」コーディネーター
	岡本由姫美	府中市和光園保育所所長		一本木実香	広島県教育委員会豊かな心育成課 人権教育係社会教育主事
	林幸江	『親の力』をまなびあう学習プログラム ファシリテーター			
事務局	広島県教育委員会生涯学習課(主田, 小早川) 広島県立生涯学習センター(西田, 里本, 柳川)				

(平成 28 年度「親の力」をまなびあう学習プログラム教材開発に係る懇談会)

委員	橋本信子	安田女子短期大学教授	委員	行政智	三次市教育委員会文化と学びの課青少年育成指導員 (『親の力』をまなびあう学習プログラム) ファシリテーター
	志々田まなみ	広島県立生涯学習センター 生涯学習推進マネージャー		米田珠美	府中町社会教育委員 (『親の力』をまなびあう学習プログラム) ファシリテーター 「放課後子供教室」コーディネーター
	緒方恵理子	尾道市向東地区家庭教育支援チーム“親ちから”代表 (『親の力』をまなびあう学習プログラム) ファシリテーター		小原正啓	広島県教育委員会義務教育指導課 義務教育指導班政令市・中核市教育委員会担当 主任指導主事
	岡本由姫美	府中市和光園保育所所長		藤田春恵	広島県教育委員会高校教育指導課 専門教育係指導主事
	林幸江	『親の力』をまなびあう学習プログラム ファシリテーター		山田幸治	広島県教育委員会豊かな心育成課 課長補佐(兼) 道德教育係長
	古玉菊江	東広島市三ツ城コミュニティハウス副所長 (『親の力』をまなびあう学習プログラム) ファシリテーター			
事務局	広島県教育委員会生涯学習課(石川) 広島県立生涯学習センター(坂光, 柳川, 中村)				

(平成 29 年度「親の力」をまなびあう学習プログラム教材開発に係る懇談会)

委員	橋本信子	安田女子短期大学教授	委員	長岡聖奈子	府中町公民館運営審議会委員 (「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター)
	緒方恵理子	尾道市向東地区家庭教育支援チーム「親だから」代表 (「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター)		林幸江	「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター
	岡本由姫美	府中市和光園保育所所長		久光千登勢	「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター 「放課後子供教室」コーディネーター
	鎌田紀美	「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター		古玉菊江	東広島市三ツ城コミュニティハウス副所長 (「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター)
	小林文子	「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター		松浦美都子	府中町公民館運営審議会委員 (「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター) 「放課後子供教室」コーディネーター
	谷本美代子	「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター		行政智	三次市教育委員会文化と学びの課青少年育成指導員 (「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター)
	田村雅恵	府中町家庭教育支援チーム「くすのき」代表 府中町社会教育委員 (「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター)		米田珠美	府中町社会教育委員 (「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター) 「放課後子供教室」コーディネーター
事務局	広島県教育委員会生涯学習課(田崎, 一本木) 広島県立生涯学習センター(坂光, 柳川, 石崎)				

(平成 30 年度「親の力」をまなびあう学習プログラム教材開発に係る懇談会)

委員	橋本信子	安田女子短期大学教授	委員	田村雅恵	府中町家庭教育支援チーム「くすのき」代表 府中町社会教育委員 (「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター)
	山川肖美	広島県立生涯学習センター 生涯学習推進マネージャー		長岡聖奈子	府中町公民館運営審議会委員 (「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター)
	緒方恵理子	尾道市向東地区家庭教育支援チーム「親だから」代表 (「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター)		林幸江	「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター
	岡本由姫美	府中市和光園保育所所長		久光千登勢	「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター 「放課後子供教室」コーディネーター
	鎌田紀美	「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター		松浦美都子	府中町公民館運営審議会委員 (「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター) 「放課後子供教室」コーディネーター
	小林文子	「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター		行政智	三次市教育委員会文化と学びの課青少年育成指導員 (「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター)
	谷本美代子	「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター		米田珠美	府中町社会教育委員 (「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター) 「放課後子供教室」コーディネーター
事務局	広島県教育委員会生涯学習課(田崎, 寺川) 広島県立生涯学習センター(毛利, 石崎, 内藤)				

(令和元年度「親の力」をまなびあう学習プログラム教材開発に係る懇談会)

委員	橋本信子	安田女子短期大学教授	委員	行政智	三次市教育委員会文化と学びの課青少年育成指導員 (「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター)
	山川肖美	広島県立生涯学習センター 生涯学習推進マネージャー		田村雅恵	府中町家庭教育支援チーム「くすのき」代表 府中町社会教育委員 (「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター)
	岡本由姫美	府中市和光園保育所所長		小笠原瑠衣	ママンペ mama おしゃべりサークル 「ハグクム」
	緒方恵理子	尾道市向東地区家庭教育支援チーム「親だから」代表 (「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター)		高野理紗	ママンペ mama おしゃべりサークル 「ハグクム」
	谷本美代子	「『親の力』をまなびあう学習プログラム」ファシリテーター			
事務局	広島県教育委員会生涯学習課(田崎, 大久保) 広島県立生涯学習センター(毛利, 濱本, 中尾)				

4 イラスト・マンガ執筆者

うじな かずひこ（教材番号 1～20 番，アレンジ版の「ワークシート」，「学習のすすめ方」の一部）

吉川 衣代（「学習のすすめ方」の「アイスブレイク集」）

角野 知子（教材番号 30・31・コ-1～6 番の「ワークシート」）

5 このプログラムで使用する用語について

- ・親…「子の養育について第一義的責任を有するもの」としての，親など「保護者」の総称
- ・小学校…小学校及び特別支援学校小学部
- ・小学生…小学校及び特別支援学校の小学部に通う児童
- ・中学生…中学校及び特別支援学校の中学部に通う生徒
- ・高校生…高等学校全日制・定時制・通信制及び特別支援学校の高等部に学ぶ生徒
- ・青少年…